

# 甲子園開幕



▶赤く染まった一塁側スタンドと高校球児たち

台風の影響により1日遅れた8月8日に全日本高等学校野球選手権大会の開会式が行われた。関西吹奏楽連盟による華やかなマーチング演奏で球児たちの夏の甲子園が始まった。

昨年度優勝校の栃木県の作新学院を先頭に全49校が各県の期待を背負い入場した。本校の選手も堂々と行進し、入場すると同時に一塁側のアルプススタンドが大きな歓声に沸いた。また本校野球部の対戦校である波佐見高校の入場でも大きな拍手が起こった。全出場校が入場後、揃って前進したときより大きな拍手、歓声が起こった。

次に国旗、大会旗の掲揚が行われた。厳肅な雰囲気でも国歌、大会歌だけが静かに流れた。



速報新聞

## キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

### 新聞部

彦根市金亀町4番7号



▲歴代優勝校の校旗を持ったプラカードガール

続けて大会会長が開会のあいさつをされた。あいさつが終わるとファンファーレが甲子園球場いっぱいに鳴り響いた。

その後、作新学院の優勝旗返還とレプリカの贈呈が行われた。作新学院主将の添田真聖君が優勝旗返還のため選手たちの前へと進み、レプリカの優勝旗をしっかりと受け取った。

文部科学省副大臣がお祝いの言葉を、また日本高等学校野球連盟会長が激励の言葉を選手たちにそれぞれ述べられた。選手たちはその言葉に真剣に耳を傾けていた。

選手宣誓では北北海道地区から勝ち上がった滝川西高校の堀田将人君が宣誓の言葉を述べた。高校球児の代表として堂々とした宣誓だった。

宣誓が終わると大会歌とともに甲子園での試合への緊張や期待を残して球児たちは退場していった。



▲本校野球部員は堂々と行進した。

本校野球部が退場していくと、また一塁側スタンドからこの後すぐに始まる試合に期待や励ましを込めて大きな拍手が起こった。

開会式から本校を応援する人々はおそろいのTシャツや帽子、タオルなどを身につけて一塁側のスタンドを真っ赤に染め上げた。彦根東高校の存在を強く印象つけた。